

2024年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年6月14日

上場会社名 株式会社TOKYO BASE 上場取引所 東
コード番号 3415 URL <https://www.tokyobase.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 谷 正人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 中水 英紀 TEL 03-6712-6842
四半期報告書提出予定日 2023年6月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第1四半期の連結業績（2023年2月1日～2023年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第1四半期	4,725	8.7	97	-	113	△35.7	△1	-
2023年1月期第1四半期	4,348	9.8	△5	-	176	△32.6	79	△50.6

(注) 包括利益 2024年1月期第1四半期 △30百万円 (-%) 2023年1月期第1四半期 60百万円 (△62.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第1四半期	△0.02	-
2023年1月期第1四半期	1.74	1.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第1四半期	11,836	5,244	44.2
2023年1月期	11,195	5,366	47.9

(参考) 自己資本 2024年1月期第1四半期 5,236百万円 2023年1月期 5,358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	-	0.00	-	2.00	2.00
2024年1月期	-	-	-	-	-
2024年1月期(予想)	-	0.00	-	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年1月期の連結業績予想（2023年2月1日～2024年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.3	1,500	597.6	1,480	457.0	1,000	-	21.80

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年1月期1Q	48,493,800株	2023年1月期	48,493,800株
② 期末自己株式数	2024年1月期1Q	2,627,418株	2023年1月期	2,627,418株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年1月期1Q	45,866,382株	2023年1月期1Q	45,871,382株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和に伴う人流及びインバウンドの増加により消費活動が正常化に向かい、緩やかな回復傾向が見受けられております。一方、世界的な資源価格の上昇や為替変動による物価上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

中国本土においても、ゼロコロナ政策解除に伴う行動制限緩和により人流は増加傾向にあるものの、先行きが不透明な状況から節約志向も見受けられ、消費活動は緩やかな回復となっております。

このような状況のもとで、当社は、売上総利益率向上、既存店強化、営業力強化、中国事業強化などによる収益体質の強化と利益の最大化を進めております。

(連結経営成績)

(単位：千円)

	2023年1月期 第1四半期 連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)	2024年1月期 第1四半期 連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)	増減	増減率
売上高	4,348,549	4,725,243	376,693	8.7%
売上総利益	2,257,116	2,344,740	87,623	3.9%
販売費及び一般管理費	2,262,369	2,247,629	△14,740	△0.7%
営業利益又は営業損失(△)	△5,252	97,111	102,364	—
経常利益	176,205	113,329	△62,876	△35.7%
税金等調整前四半期純利益	176,001	85,577	△90,423	△51.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純 損失(△)	79,833	△1,049	△80,822	—

(売上高)

国内においては、消費活動が正常化に向かいはじめ、人流の増加及びインバウンド購買客数の増加、A+ TOKYO及びTHE TOKYOが伸長いたしました。一方で中国本土においては、ゼロコロナ政策解除後から2023年1月上旬まで新型コロナウイルス感染症の感染者数が爆発的に増加したこと、前年は同感染症の影響が2022年2月から一部地域で拡大しはじめたことにより、1月及び2月が前年に対して減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,725,243千円(前年同期比8.7%増)となりました。

(売上総利益)

売上総利益は売上の増加に伴い増加いたしました。一方で売上総利益率は49.6%(前年同期比2.3ポイント減)となり、例年1月に開催していた秋冬物のファミリーセールを2023年は2月に開催したため、売上総利益率が低下いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上総利益は2,344,740千円(前年同期比3.9%増)となりました。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

当第1四半期連結累計期間においては売上の増加に伴い地代家賃が増加いたしました。一方で中国本土の退店等による人件費の減少及び前期にUNITED TOKYOのコレクション開催に伴う宣伝販促費の計上等との増減の結果、売上高販管費比率は47.6%（前年同期比4.4ポイント減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は2,247,629千円（前年同期比0.7%減）、営業利益は97,111千円（前年同期は営業損失5,252千円）となりました。

(営業外損益、経常利益)

営業外収益は前第1四半期連結累計期間に比較して170,551千円減少し、26,733千円となりました。主な要因は為替差益の減少によるものです。

営業外費用は前第1四半期連結累計期間に比較して5,311千円減少し、10,515千円となりました。主な要因は支払利息及び支払手数料の減少によるものです。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経常利益は113,329千円（前年同期比35.7%減）となりました。

(特別損益、税金等調整前四半期純利益、親会社株主に帰属する四半期純利益)

特別損失は、27,751千円（前年同期は特別損失204千円）となりました。主な要因は中国本土の一部地域及び商業施設からの退店による減損損失によるものです。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は85,577千円（前年同期比51.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,049千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益79,833千円）となりました。

(補足情報)

I. 業態別売上高

(単位：千円)

	2024年1月期 第1四半期 連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)	前年同期比 (増減率)
STUDIOUS	2,181,649	3.3%
UNITED TOKYO	1,299,563	1.3%
PUBLIC TOKYO	846,507	9.9%
A+ TOKYO	188,552	49.0%
THE TOKYO	275,655	117.7%
その他	△66,694	-
全社合計	4,725,243	8.7%

(注) 「その他」は売上高に与える収益認識基準適用の影響額等となっております。

II. 業態別売上高既存店前年同期比

	2024年1月期 第1四半期 連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)
STUDIOUS	100.0%
UNITED TOKYO	98.9%
PUBLIC TOKYO	106.6%
A+ TOKYO	135.4%
THE TOKYO	122.1%
全社合計	102.2%

Ⅲ. 出退店及び店舗数

業態	2023年1月期 連結会計 年度末	2024年1月期 第1四半期 連結累計期間				2024年1月期 第1四半期 連結会計 期間末
		出店	退店	増減	(改装)	
STUDIOUS	43	—	—	—	(1)	43
UNITED TOKYO	24	—	2	△2	—	22
PUBLIC TOKYO	18	—	1	△1	—	17
A+ TOKYO	6	—	—	—	—	6
THE TOKYO	6	—	—	—	—	6
全社合計	97	—	3	△3	(1)	94

2024年1月期第1四半期連結累計期間における店舗展開については以下のとおりです。

■STUDIOUS業態

「STUDIOUS MENS 新宿店」を増床改装

■UNITED TOKYO業態

「UNITED TOKYO 武漢店」を退店

「UNITED TOKYO 成都店」を退店

■PUBLIC TOKYO業態

「PUBLIC TOKYO 成都店」を退店

この結果、2024年1月期第1四半期連結会計期間末における店舗数は、STUDIOUS業態が43店舗（内、ECが3店舗）、UNITED TOKYO業態が22店舗（内、ECが2店舗）、PUBLIC TOKYO業態が17店舗（内、ECが2店舗）、A+ TOKYO業態が6店舗（内、ECが2店舗）、THE TOKYO業態が6店舗（内、ECが2店舗）の合計94店舗となりました。

なお、実店舗は全83店舗となり、国内58店舗、海外25店舗となりました。

(注) 連結対象である東百国際貿易（上海）有限公司の第1四半期決算期末は3月であり、当社の第1四半期決算期末の4月とは1ヶ月間異なりますが、それぞれの第1四半期決算期末に合わせて出退店及び店舗数を記載しております。なお、東百国際貿易（上海）有限公司の2023年4月の出退店はSTUDIOUS 武漢店が退店しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比較して640,465千円増加し、11,836,097千円となりました。これは、主として商品が779,167千円、現金及び預金が142,047千円増加した一方で、有形固定資産が345,964千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比較して762,571千円増加し、6,591,836千円となりました。これは、主として買掛金が1,419,702千円増加した一方で、契約負債が18,069千円、1年以内返済予定の長期借入金が36,563千円、賞与引当金が38,397千円、未払法人税等が97,814千円、短期リース債務が106,166千円、長期リース債務が125,259千円、長期借入金が149,949千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比較して122,106千円減少し、5,244,260千円となりました。これは、主として、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失及び配当金の支払により92,781千円、為替換算調整勘定が29,324千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については2023年3月15日の「2023年1月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,504,646	2,646,694
売掛金	1,233,871	1,224,057
商品	2,641,633	3,420,800
未収還付法人税等	—	2,039
その他	142,405	205,434
流動資産合計	6,522,557	7,499,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,997,148	1,892,415
工具、器具及び備品(純額)	102,297	94,332
使用権資産(純額)	1,003,859	770,593
有形固定資産合計	3,103,305	2,757,341
無形固定資産		
ソフトウェア	65,088	57,812
無形固定資産合計	65,088	57,812
投資その他の資産		
繰延税金資産	122,641	122,641
差入保証金	1,366,467	1,365,558
その他	15,570	33,716
投資その他の資産合計	1,504,680	1,521,917
固定資産合計	4,673,073	4,337,070
資産合計	11,195,631	11,836,097
負債の部		
流動負債		
買掛金	862,485	2,282,188
短期借入金	1,100,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	819,864	783,300
未払費用	581,062	624,229
未払法人税等	201,118	103,303
リース債務	565,687	459,521
契約負債	87,385	69,315
賞与引当金	62,102	23,705
その他	308,720	188,265
流動負債合計	4,588,425	5,633,830
固定負債		
長期借入金	697,225	547,275
リース債務	464,506	339,247
資産除去債務	79,107	71,482
固定負債合計	1,240,839	958,005
負債合計	5,829,264	6,591,836

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,537	564,537
資本剰余金	863,306	863,306
利益剰余金	5,273,731	5,180,950
自己株式	△1,361,785	△1,361,785
株主資本合計	5,339,790	5,247,009
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	18,576	△10,748
その他の包括利益累計額合計	18,576	△10,748
新株予約権	8,000	8,000
純資産合計	5,366,366	5,244,260
負債純資産合計	11,195,631	11,836,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)
売上高	4,348,549	4,725,243
売上原価	2,091,433	2,380,503
売上総利益	2,257,116	2,344,740
販売費及び一般管理費	2,262,369	2,247,629
営業利益又は営業損失(△)	△5,252	97,111
営業外収益		
受取利息	19	54
助成金収入	10,423	1,710
為替差益	185,090	21,676
その他	1,752	3,293
営業外収益合計	197,285	26,733
営業外費用		
支払利息	13,534	10,192
支払手数料	2,176	—
その他	115	323
営業外費用合計	15,826	10,515
経常利益	176,205	113,329
特別損失		
固定資産除却損	204	—
減損損失	—	27,751
特別損失合計	204	27,751
税金等調整前四半期純利益	176,001	85,577
法人税等	96,167	86,626
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,833	△1,049
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	79,833	△1,049

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,833	△1,049
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△18,848	△29,324
その他の包括利益合計	△18,848	△29,324
四半期包括利益	60,985	△30,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,985	△30,373
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響に関しては、2023年5月以降も同感染症の影響が継続するものの、売上は一定程度回復するとの仮定を置いて見積りを行っております。

なお、日本国内の店舗においては、2023年5月8日から「5類感染症」への移行も伴い、同感染症の影響が緩和から消費活動の正常化に向かい、2024年1月期は訪日外国人客への売上についても徐々に回復していくとの仮定を置いております。

また、中国本土においてもゼロコロナ政策が解除されたことをふまえ、同感染症の影響は一定程度あるものの、2024年1月期の売上は回復していくとの仮定を置いております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年2月1日 至 2022年4月30日）

当社グループは、衣料品販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年2月1日 至 2023年4月30日）

当社グループは、衣料品販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。